

MCP-MA7

ユーザーズマニュアル

(ATS-MA7-SMAF 用)

Ver.1.6.0

2006/11/07

ヤマハ株式会社

本書の著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。
本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。
また、本書の内容は予告なく変更される場合があります。



Copyright© 2006 Yamaha Corporation
All rights reserved.

はじめに

MCP-MA7(コンテンツプレイヤー)は携帯端末用コンテンツファイルを試聴するためのアプリケーションソフトウェアです。

本アプリケーションにより、SMF(スタンダード MIDI ファイル)、SMAF (Synthetic Music Mobile Application Format)ファイルの再生を「MA-7 エミュレータ」で確認することができます。

推奨動作環境

本アプリケーションの推奨動作環境は、以下に示すとおりです。

対応オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® XP Microsoft® Windows® 2000
CPU/クロック	Pentium® 4 互換プロセッサ 2.0GHz 以上
メモリー	256MB 以上
必要なハードディスク空き容量	300MB 以上

【Note】 本マニュアルで使用されている全ての製品名は、各社の商標、および登録商標です。

目次

はじめに	2
更新履歴	3
1. MCP-MA7 について	4
使用可能な機能	4
再生可能なコンテンツファイル	4
2. プログラムを起動する	5
3. コンテンツファイルを再生する	5
4. 機能説明	6
4.1. メインウィンドウ	6
リストビュー	7
4.2. タイトルバー	8
システムメニュー	8
4.3. メニューバー	9
File メニュー	10
Edit メニュー	10
View メニュー	11
Help メニュー	11
4.4. ツールバー	12
4.5. ボリュームバー	12
4.6. トランスポートバー	13
4.7. デバイスコントロールバー	13
4.8. マルチ再生バー	14
4.9. ステータスバー	14

更新履歴

版	発効日	内容
1.6.0	2006/11/07	初版

1. MCP-MA7 について

MCP-MA7 の機能の概要を説明します。

使用可能な機能

以下の機能が使用可能です。

機能	内容
コンテンツファイルのリスト表示	読み込んだコンテンツファイルをリストに表示します。 リストはファイル(*.m7l)に保存することができます。
コンテンツファイルの再生制御	読み込んだコンテンツファイルを再生(／停止)します。 連続再生、リピート再生も可能です。
シークスライダー	曲の現在の再生位置を表示します。また、再生位置の変更が可能です。
テンポ&キーコントロール	曲の再生速度、キーを変更することができます。
LED & バイブレータの点滅表示	LED とバイブレータの点滅を表示します。

再生可能なコンテンツファイル

以下のファイルが再生可能です。

ファイル名	拡張子
SMF	mid
SMAF	mmf

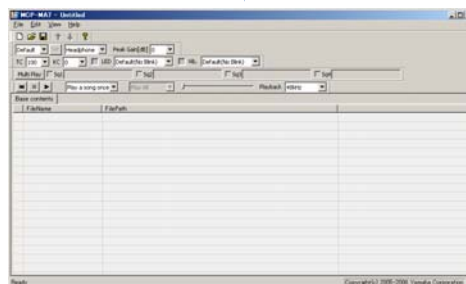
2. プログラムを起動する

MCP-MA7 を下記の手順で起動してください。

1. スタートメニュー内、またはインストール時にデスクトップ上に作成されたショートカットアイコンをダブルクリックします。



2. MCP-MA7 のメインウィンドウが表示されます。

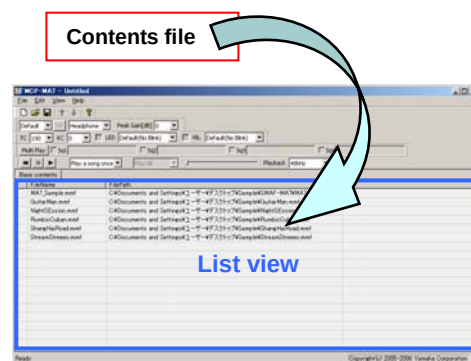


3. コンテンツファイルを再生する

MCP-MA7 でコンテンツファイルを再生する手順を簡単に説明します。

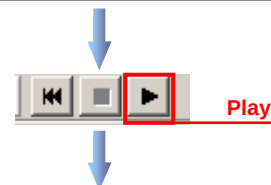
1. コンテンツファイルをメインウィンドウ上のリストビューに登録します。

※一度に複数ファイルをドラッグ & ドロップして登録することができます。

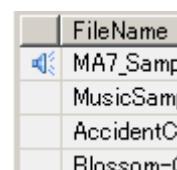


2. 再生ボタンを押します。

※スペースキーを押すことによって再生を開始／停止することも可能です。



3. ファイルが再生されます。

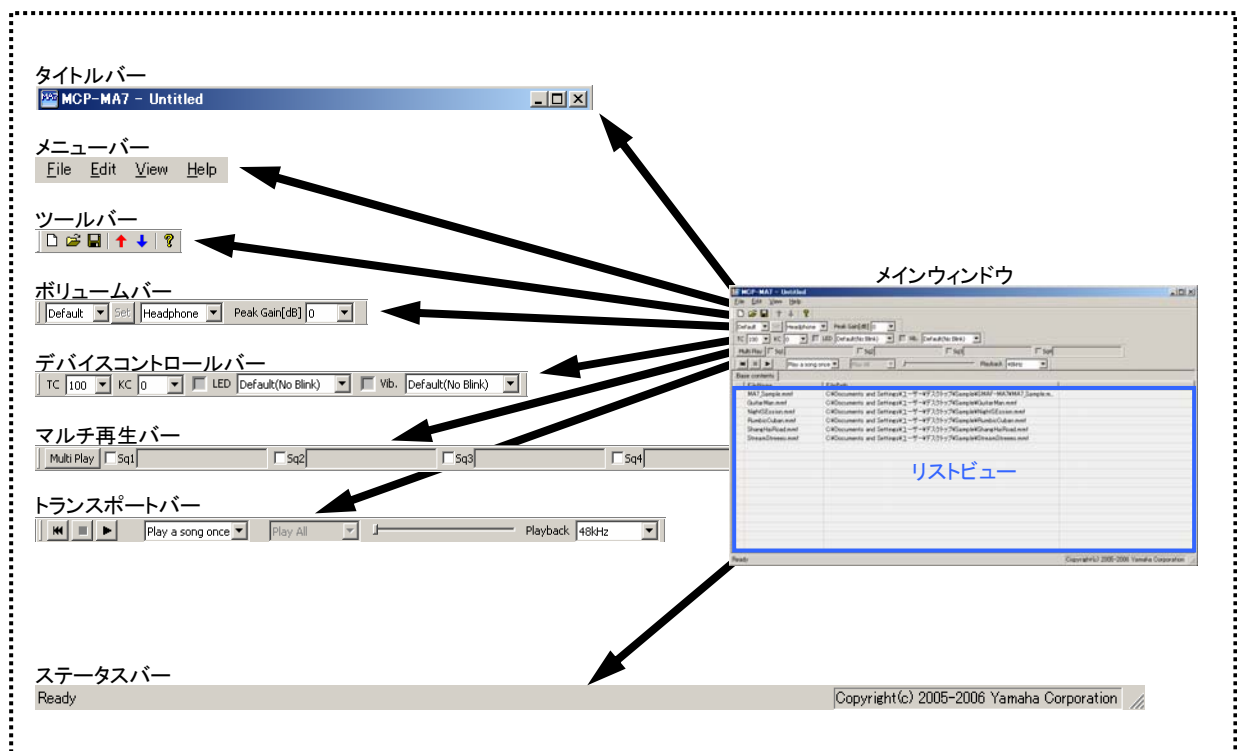


4. 機能説明

MCP-MA7 の各機能について説明します。

4.1. メインウィンドウ

メインウィンドウ上にコントロールバー、リストビューが展開されます。

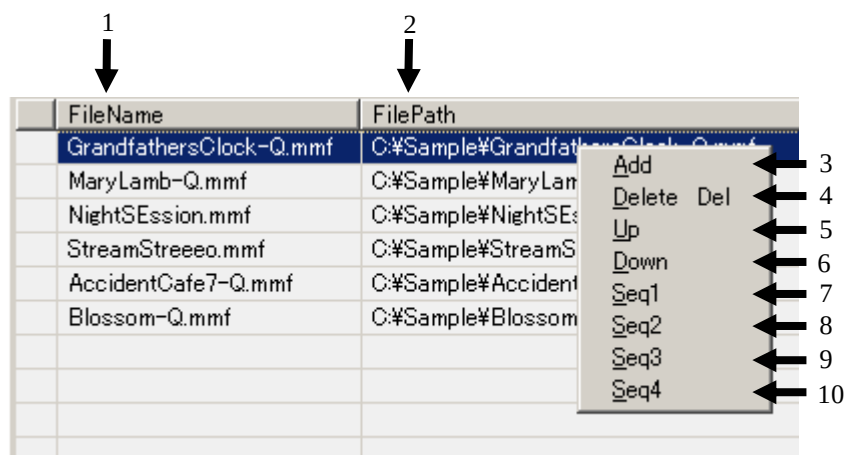


【Note】各コントロールバーは、必要に応じて、表示・非表示させることが可能です。詳細については、「[View メニュー](#)」を参照ください。またステータスバー以外の各バーは、ドラッグして並び替えることができます。

リストビュー

コンテンツファイルをリスト表示します。

リストビュー上にコンテンツファイルをドロップしてリストに追加できます。一度に複数ファイルをドロップできます。
リストに登録されたファイルを再生することが可能です。



リストビュー

No.	機能名	内容
1	FileName	ファイル名を表示します。 列のタイトル部分をクリックするとファイルを並び替えます。
2	FilePath	表示されているファイルのパスを表示します。 列のタイトル部分をクリックするとファイルを並び替えます。
3	Add	ファイルをリストに追加します。 ファイルをリスト上にドロップして追加することもできます。
4	Delete Del	選択されているファイルをリストから削除します。 ファイルをウィンドウ外へドラッグして削除することもできます。
5	Up	選択されているファイルを1つ上に移動します。
6	Down	選択されているファイルを1つ下に移動します。
7	Seq1	選択されているファイルをマルチ再生バーの「Sq1」に登録します。(※)
8	Seq2	選択されているファイルをマルチ再生バーの「Sq2」に登録します。(※)
9	Seq3	選択されているファイルをマルチ再生バーの「Sq3」に登録します。(※)
10	Seq4	選択されているファイルをマルチ再生バーの「Sq4」に登録します。(※)

(※) マルチ再生バーの「Multi Play」ボタンが選択されているときに有効となります。
対象ファイルは SMF です。

【Note】 スペースキーを押すことにより選択されているファイルの再生／停止が可能です。

【Note】 リストはファイル(*.m7l)に保存することができます。

【Note】 MA-7 オーサリングツールで利用できるプロジェクトファイル(*.m7p)は、リストに登録できますが、再生はできません。

【Note】 リストに登録した SMF(*.mid)、プロジェクトファイル(*.m7p)をダブルクリックすると、オーサリングツールが起動し、ファイルを開きます。

4.2. タイトルバー

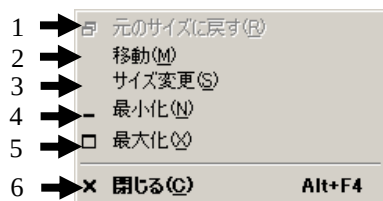
メインウィンドウのタイトルバーには、現在 MCP-MA7 上に展開されているリストファイルのファイル名が表示されます。



No.	機能名	内容
1	アプリケーションアイコン	システムメニューが展開します。 (システムアイコンの詳細については、“システムメニュー”を参照ください。)
2	最小化ボタン	ウィンドウを最小化(アイコン化)します。
3	最大化ボタン 元に戻す(縮小)ボタン	ウィンドウを最大化します。ウィンドウが最大化されている場合、このボタンは元に戻す(縮小)ボタンになっており、元に戻す(縮小)ボタンをクリックすると、もとのサイズに戻します。
4	クローズボタン	アプリケーションウィンドウの場合、ウィンドウを閉じアプリケーションを終了します。

システムメニュー

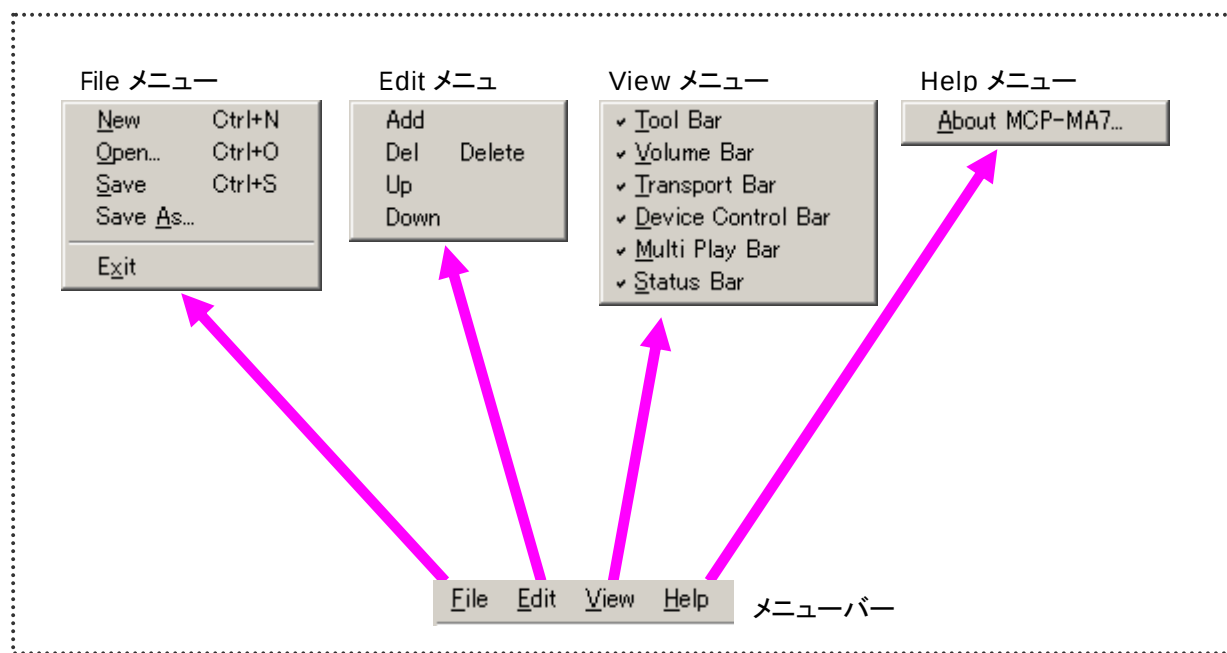
タイトルバーの左端にあるアプリケーションアイコンをクリックすると、システムメニューが画面上に展開されます。



No.	機能名	内容
1	元のサイズに戻す(R)	ウィンドウが最大化されている場合は、もとの大きさに戻します。
2	移動(M)	マウスポインタが移動ツールに変化します。このポインタでウィンドウのタイトルバーをクリック&ドラッグすると、ウィンドウの位置を移動することができます。ウィンドウが最大化されているときは、選択することができません。
3	サイズ変更(S)	マウスポインタがサイズ変更ツールの形に変化します。このポインタをウィンドウの上下左右のラインに合わせてそれぞれのラインをクリック&ドラッグすると、ウィンドウのサイズを変更することができます。ウィンドウが最大化されているときは、選択することができません。
4	最小化(N)	ウィンドウを最小化(アイコン化)します。
5	最大化(X)	ウィンドウを最大化します。ウィンドウが最大化されているときは、選択することができません。
6	閉じる(C)	アプリケーションウィンドウの場合、ウィンドウを閉じアプリケーションを終了します。

4.3. メニューバー

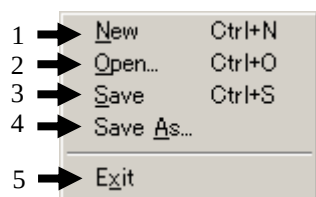
メニューバーには、さまざまな機能を実行するためのメニューが用意されています。それぞれの詳細につきましては、各メニューに対応する章を参照ください。



メニューバー

File メニュー

ファイルメニューから、リストファイル(*.m7l)を開く／閉じる／保存することができます。



File メニュー

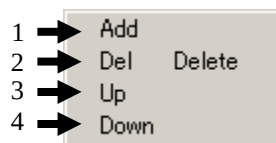
No.	機能名	内容
1	New	新規にリストファイル(*.m7l)を作成します。 リストが編集の場合は編集中のリストを保存するかを確認します。
2	Open...	リストファイル(*.m7l)を開きます。 リストが編集の場合は編集中のリストを保存するかを確認します。
3	Save	現在のリストファイル(*.m7l)を保存します。
4	Save As...	現在のリストファイル(*.m7l)を別名保存します。
5	Exit	アプリケーションを終了します。

リストファイル(*.m7l)とは?

リストファイルは、リストビュー上に登録されている全てのファイルのファイル名とファイルパスを保存したデータファイルです。

Edit メニュー

リストビュー上のコンテンツファイルのリストを編集することができます。



Edit メニュー

No.	機能名	内容
1	Add	ファイルをリストに追加します。 ファイルをリスト上にドロップして追加することもできます。
2	Del Delete	選択されているファイルをリストから削除します。 ファイルをウィンドウ外へドラッグして削除することもできます。
3	Up	選択されているファイルを1つ上に移動します。
4	Down	選択されているファイルを1つ下に移動します。

View メニュー

コントロールバーをアプリケーション上に表示・非表示することができます。アクティブなコントロールバーにはチェックマークが表示されます。

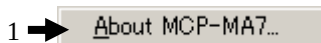


View メニュー

No.	機能名	内容
1	Tool Bar	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。(p.12 参照)
2	Volume Bar	ボリュームバーの表示/非表示を切り替えます。(p.12 参照)
3	Transport Bar	トランスポートバーの表示/非表示を切り替えます。(p.13 参照)
4	Device Control Bar	デバイスコントロールバーの表示/非表示を切り替えます。(p.13 参照)
5	Multi Play Bar	マルチ再生バーの表示/非表示を切り替えます。(p.14 参照)
6	Status Bar	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。(p.14 参照)

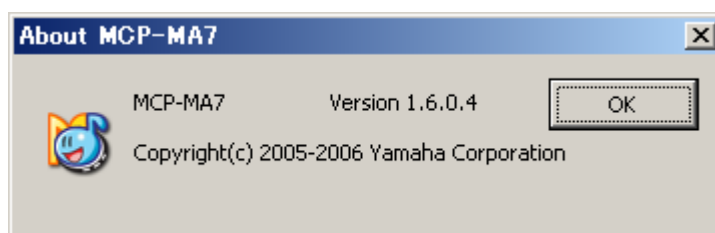
Help メニュー

MCP-MA7 に関わる情報を提供します。



No.	機能名	内容
1	About MCP-MA7...	MCP-MA7 のバージョン情報を表示します。

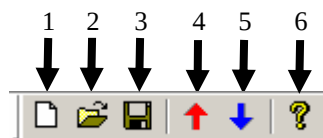
Help メニュー



バージョン情報

4.4. ツールバー

リストファイル(*.m7l)の読み込み、編集、保存を操作することができます。



ツールバー

No.	機能名	内容
1	New	新規にリストファイル(*.m7l)を作成します。 リストが編集中の場合は編集中のリストを保存するかを確認します。
2	Open	リストファイル(*.m7l)を開きます。 リストが編集中の場合は編集中のリストを保存するかを確認します。
3	Save	現在のリストファイル(*.m7l)を保存します。
4	Up	リスト中で選択されているファイルを 1 つ上に移動します。
5	Down	リスト中で選択されているファイルを 1 つ下に移動します。
6	About	MCP-MA7 のバージョン情報を表示します。

4.5. ボリュームバー

スピーカ、ヘッドフォンの設定、音量設定を行うことができます。



ボリュームバー

No.	機能名	内容
1	Setting	“Set”にて保存したボリューム設定を読み込んで反映します。 (選択可能値:Default・A・B・C・D・E)
2	Set	選択中の“Setting”に各ボリュームの設定値を保存します。
3	Output Mode	出力デバイス設定を設定します。 (選択可能値:Headphone/Speaker)
4	Peak Gain	「0」dB 固定です。

4.6. トランスポートバー

楽曲データの再生や停止の制御を行います。



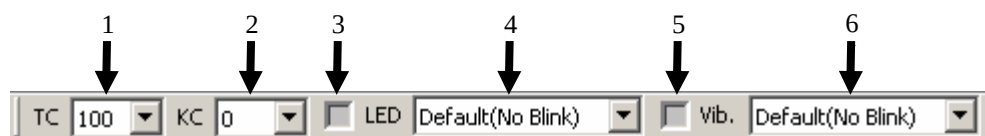
トランスポートバー

No.	機能名	内容
1	Rewind	再生開始位置を先頭に移動します。
2	Stop	再生を停止します。
3	Play	再生を開始します。
4	再生選択リスト	連続再生、リピート再生の切り替えが可能です。 (選択範囲: Play a song once/Repeat a song/Play list once/Repeat list)
5	Phrase List 選択	「Play All」固定です。
6	Seek スライダー	曲の再生範囲内での再生位置を表示/設定します。再生中の操作も可能です。
7	Playback Frequency	エミュレータの再生周波数を設定します。48kHz/44.1kHz/32kHz/22.05kHz から設定可能です。

4.7. デバイスコントロールバー

テンポ、キーを変更して再生することができます。

LED/Vib ステータスを表示し、LED 点滅周期及び Vib 振動周期を設定できます。

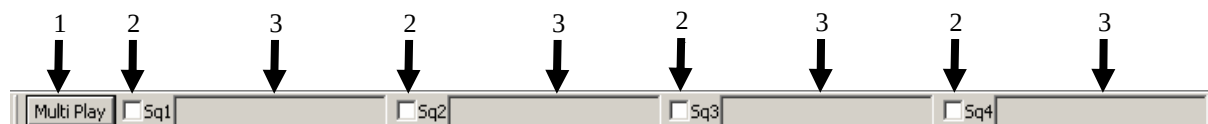


デバイスコントロールバー

No.	機能名	内容
1	Tempo Control (TC)	テンポコントロール値を表示します。単位は「%」。 コンボボックスのリスト(選択範囲: 25~400%)から選択することで、再生速度を変更できます。 再生中の変更は、直ちに適用されます。コンテンツデータには反映されません。
2	Key Control (KC)	キーコントロール値を表示します。単位は半音で 1。 コンボボックスのリスト(選択範囲: -12~+12)から選択することで変更できます。 再生中の変更は直ちに適用します。コンテンツデータには反映されません。
3	LED ランプ	LED 点滅周期選択の設定により点滅します。
4	LED 点滅周期選択	LED 点滅周期を表示/変更を行います。 (選択範囲: Default(No Blink)/18 Hz/16 Hz/12 Hz/8 Hz/4 Hz)から選択可能です。
5	Vib ランプ	Vib 振動周期選択の設定により点滅します。ボックス側の MTR が点灯します。
6	Vib 振動周期選択	Vib.振動周期を表示/変更を行います。 (選択範囲: Default(No Blink)/2.25 Hz/2.0 Hz/1.5 Hz/1.0 Hz/0.5 Hz)から選択可能です。

4.8. マルチ再生バー

マルチ再生を行うシーケンス(Sq1～Sq4)の登録、再生を行うことができます。
 各シーケンスはリストビュー上の右クリックメニューから登録することができます。(p.7 参照)
 対象ファイルは SMF です。
 各シーケンスは「1」～「4」のキー(テンキーは除く)を押下することで再生を開始します。



マルチ再生バー

No.	機能名	内容
1	Multi Play	通常再生モードとマルチ再生モードの切り替えを行います。
2	チェックボックス(Sq1～Sq4)	チェックボックスを ON にするとトランスポートバーの再生ボタンにより再生することができます。
3	Sq1～Sq4	シーケンスに割り当てられたファイルのファイル名を表示します。

4.9. ステータスバー

MCP-MA7 の状態を表示します。



ステータスバー

No.	機能名	内容
1	メッセージ表示領域	各種メッセージを表示します。
2	著作権表示域	「Copyright© Yamaha Corporation」を表示します。